

産業能率大学 情報マネジメント学部

文章力の基礎	履修年次	1	
	単位	2	
森本 暁帆	配当期	前	
	授業方法	演習 / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>授業では、まず、多くの語彙に慣れ親しむため、漢字小テスト、書き取りテストなどを毎回行う。次に、授業項目にあるように、三段落の意見文、データを論拠とするレポートなどを実際を書く練習を行う。さらに、作成した文章を書き直したり、受講者間で相互評価を行ったりすることで、自分自身の文章を客観的に読む視点を養い、自己学習力の向上を目指す。</p> <p>各ユニットの最後に、学習の成果を診断するために、3回の<測定>を実施する。履修する学生は、より良い成果を得るためにも、漢字や語彙の復習や文章の書き直しなどの練習を十分に行うこと。</p> <p>なお、本科目は、「プレイスメントテスト(日本語)」の結果によって履修を指定された学生を対象とする。それ以外の人は履修できない。また、本科目の合格によって後学期「ビジネス文書の作成」の履修が可能である。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・受講前に比べて漢字および語彙の知識が増え、自立的、継続的に学習できる基礎が身についている。 ・論拠を示して、文章を論理的に組み立てることができる。 ・大学で求められる文章構成および表現に関する基礎知識を身につけ、それを用いて文章を書くことができる。 			
成績評価の方法			
<p>授業出席、授業外学習、小テスト(測定1~3)、提出課題により総合的に評価する。</p> <p>文章力の基礎となる漢字／語彙の学習において成果を上げるには、予習復習が欠かせない。その一連の学習活動を適切に評価するため、授業外学習の実施および成果、小テストの結果を重視する。</p>			
週	授業項目	週	授業項目
1	オリエンテーション	8	レポート書き方(3): データを論拠に結論を導く(作成-2)
2	三段落の文章(1): 構成と表現を学ぶ、賛否を述べる(作成-2)	9	レポート書き方(4): データを論拠に結論を導く(修正-2)
3	三段落の文章(2): 賛否を述べる(修正-2、作成-3)	10	<測定2>
4	三段落の文章(3): 賛否を述べる(修正-3)	11	フィードバック 論説文の構成と表現(1):復習と作成-1
5	<測定1>	12	論説文の構成と表現(2):作成-2
6	フィードバック レポートの書き方(1): データを用いたレポートの構成と表現を学ぶ	13	<測定3>
7	レポートの書き方(2): データを論拠に結論を導く(構成-2)	14	フィードバックと振り返り